

監督会議資料

(県内予選)

作成：沖縄空手世界大会実行委員会事務局

1. 事前準備等 【競技専門部会関係】

※選手、監督の服装については競技規程第2条に記載されていますので、必ず事前にご確認ください。

- ・ ゼッケンは縫付タイプとなっておりますので、試合当日までに各自で縫付するようお願いいたします。安全ピンの使用は禁止します。
- ・ 流派・会派章などで、競技規程に抵触する空手着の場合は、空手着と同色の布かテープング等で覆って見えないようにしてください。
- ・ 選手登録が済んでいない選手は、速やかに大会事務局にて選手登録を行って下さい。選手登録が済んでいない選手、ゼッケンの無い選手は競技大会に出場することができません。
- ・ その他、鉢巻き、ヘアピン、ヘアークリップ、指輪等の金属類、磁気ネックレス、ミサンガ等の装飾品は禁止となります。
- ・ 包帯、留め金等は医師の診断書があれば認められます。必要な場合は、必ず事前に医師の診断書を提出してください。(サポーター、テープングは可)
- ・ 監督は、「空手着」を着用し、「腕章」をしなければなりません。腕章は、予選当日に受付にてお渡しします。
- ・ 監督も選手と一緒に入退場し、試合中は各コートの所定の場所に待機していただきます。ただし、複数のコートの選手の監督を掛け持ちしている場合は、コート間の移動は可能です。

2. 県内予選当日について 【事務局関係】

(1) 受付

- ・ 予選当日は、競技時間の1時間前までには会場に到着するようにしてください。
- ・ 会場入口付近に受付を設置しますので、選手、監督はIDカードをご持参の上、必ず受付を行ってください。(監督は、受付時に腕章をお受け取り下さい)
- ・ 当日、IDカードを忘れた方は会場に入ることができませんのでご注意ください。
- ・ 前日までに登録を行っていない選手、監督は、受付時にそれぞれ登録を行い、IDカードやゼッケン等の交付を受けてください。
- ・ 受付後は着替え等を済ませ、会場控室で待機してください。
- ・ 競技フロア内(沖縄空手会館：道場1階、武道館：アリーナ1階)は選手、監督、その他関係者以外立入禁止です。

(2) 武具の検査(古武道)

- ・ 古武道に参加する選手は、選手受付後、速やかに所定の時間に武具の検査を受けてく

ださい。武具の仕様については競技規程第9条に記載されていますので、必ず事前にご確認ください。

(3) 靴、貴重品等の荷物管理

- ・ 靴、貴重品等の荷物は、自己管理となります。盗難、紛失、破損等が起こった場合、当実行委員会は一切責任を負いません。
- ・ 会場入口で、靴用のビニール袋を配布します。
- ・ 荷物は各会場控室に置き、競技フロア内には持ち込まないでください。
- ・ 会場には空手着で来場するなど、個人の荷物の持ち込みは必要最小限にするようご協力をお願いします。

(4) 駐車場

- ・ 駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。県立武道館へのご来場にあたっては駐車場の確保はしておりませんので、公共交通機関をご利用ください。

3. 本大会選出要件、試合実施方法等について 【競技専門部会関係】

(1) 本大会進出要件

- ・ 県内予選では、各種目上位4人が8月の本大会に進むことができます。（参加選手が4人以下の種目においても予選は実施します。）

(2) 試合実施方法

- ・ 1回戦は得点方式のプール制により順位を決定し、上位者のうち別で定める人数が2回戦に進むこととなります。
- ・ 2回戦以降は得点方式のグループトーナメントとし、各グループの上位者のうち別で定める人数が次戦に進むこととなります。

(3) 試合開始から終了まで

- ・ 試合開始前、選手は競技フロア内待機エリアにて、試合で演武する型名を型申告書（IDカード裏面）に記載し、係員に提出して下さい。
- ・ 演武できる型については、事前に競技規程でご確認ください。種目によっては演武できる型の制限がありますのでご注意ください。
- ・ 待機エリアに記載用の机、ボールペンを設置します。必ず設置されたボールペンで記載してください。（原則選手本人が記載すること。小学校低学年で字が書けない場合は監督にて代筆を認めるが、申告した型と異なる型を演武しないよう注意する。）
- ・ 型申告書の記載、提出は、試合ごとに行ってください。事前にまとめて申告する必要はありません。（例：1回戦の申告時には1回戦で演武する型のみを申告し、2回戦以降の型は申告する必要はありません。）
- ・ 眼鏡、マスクの着用は可能です。ただし、眼鏡をかける場合は、落下しないように処置を行って下さい。眼鏡やマスクを外して演武する場合は、試合の直前に記録席横の所定の置き場に置いて下さい。（演武の前後には手指の消毒をお願いします。）

- ・ 試合終了後は、試合結果にかかわらず記録席から型申告書を受け取り、大切に保管してください。
- ・ 試合終了後は、係員の指示に従い、コート周辺で待機してください。
- ・ 1回戦（プール制）については、1回戦全ての試合が終わったあとに集計等を行い、大会ホームページ等で次戦進出者の告知等を行います。
- ・ 2回戦以降（グループトーナメント）については、グループごとの試合終了後に、コート上にて次戦進出者の告知等を行います。

4. 判定方法、異議申立について 【審判専門部会関係】

(1) 判定方法

- ・ 判定は、審判規程に従って行い、5人の審判員が10点満点で評価し、最高点と最低点を除いた3人の審判の合計点が、その選手の得点となります。
- ・ 2回戦以降について、次戦進出の当確線上に複数の選手が同点で並んだ場合は、次の手順で順位を決定します。
 - ① 当該競技者の得点に、除かれた最低点を加算しその合計点で順位を決定する。
 - ② 除かれた最高点をさらに加算し、その合計点で順位を決定する。
 - ③ 当該競技者間で同点決勝演武を行う。同点決勝では、直前に選択した型と同じ型は選択できません。
- ・ 首里・泊手系、那覇手系、上地流系の少年少女Ⅰ及び少年少女Ⅱについては連続して同じ型を演武することができます。
- ・ 古武道は、少年少女Ⅱ、少年少女Ⅲは連続して同じ型を演武することができます。
- ・ 少年少女Ⅲ、少年Ⅰ、少女Ⅰ（古武道は少年Ⅰ、少女Ⅰ）については、1回戦で演武した型は2回戦で演武することができます。また県内予選の最終演武で演武した型は8月の本大会初戦で演武することができます。それ以外は、連続して同じ型は選択できません。

(2) 失格、棄権

- ・ 審判規程第6条に該当する場合は失格となりますので事前にご確認ください。
- ・ ゼッケン番号を2回コールしても競技場に現れない場合は、棄権となります。（審判規程第7条）

(3) 異議申立て

- ・ **審判の判定に対する異議申立は一切できません。** 競技規程、審判規程に違反していることが疑われる場合に限り、**監督のみが異議申立を行う**ことができます。
- ・ 異議申立を行う場合は、速やかに**各コートの監査**に申し出てください。
- ・ 異議申立は、原則として、判定が出る前に行ってください。

5. その他 【事務局関係】

その他、事前に競技規程、審判規程を十分お読みください。